

〈小学校低学年部門〉

# 優秀賞

【題名】 「ちいさなパワーでおおきなしあわせ」

【学校・学年】 鳥取大学付属小学校一学年

【氏名】 高田 遥花

このおはなしは、一つぶのえんどうまめが  
女のこをたすけるおはなしです。さいしょに  
よみおえたとき、わたしのところからって  
ぽかぽかとあたたかくなりました。お日さま  
のひかりもあびて大きくなかよくえたったえ  
んどうまめたちは、それそれがちがうところ  
にはじめてとんでいくけれど、五つぶめのえ  
んどうまめがとくにするまでした。ほかのえ  
んどうまめたちは、じぶんがいいなとよもう  
ところにながってとんでいくのに、五つぶめ

のえんどうまめだけは、かみすまに「よいと  
おもわれるところはいかせてください。」とお  
いのりして、まめでっぼうにこめられて外の  
せかいに飛ばされました。おたしが「えんどう  
まめだったらすりべとんでいって、くもの  
上であそびたいとおもってしまってください。  
五つぶめのえんどうまめがとんでいったとき  
は、びよるまの女のがおているへやのまど  
のそとでした。いつもベッドの上でおている  
ので、ともだちとあそべない女の子にもだ

ちがで来たようにしてした。えんどうまめはぐんぐん大きくなって、女の子もすくすくづつげんまになっでいきました。わたしも七ヶ月シンスヤキユーリツプをそだてたことがありますが、まいにち水やりをして、えんどうまめはぐんぐん大きくなって、女の子もすくすくづつげんまになります。女の子もそのおかげで、えんどうまめはぐんぐん大きくなって、女の子もすくすくづつげんまになります。えんどうまめはぐんぐん大きくなって、女の子もすくすくづつげんまになります。

この本には、一つづつえんどうまめのちがりがひろがって、本をよんでいる人にもしあわせをおたえるまほうのようになすておな本だとおもいました。えんどうまめに花がさいてげんまになつた女の子も、きつとどこかでこまっでいる人をたすけたり、よろこばせたりしているようなまがします。わたしも一人ぼつちの人やこまっでいる人をたすけあげらるようなえがおいっぱいのやさしいころで、まいにちあつていていきなすです。わたし

の名まえには「花」というじがついてゐるの  
てサヒたいにみんなあえがおいしたいです。